

EIWA UNIVERSE

第22号

発行日 2020年7月27日

2019年度 卒業式

ハイライト：

- 2019年度卒業式 (1p)
- 本学のボランティア活動について (3p)
- 「英和生(同窓生子女)入学会金減免制度」のご紹介 (6p)
- フリーWifiを整備しました (8p)



2019年度の卒業式が、3月18日(水)に本学の楓ホールで行われました。卒業生たちは、マスクをつけたテレビ取材のスタッフや、体温計を持った本学職員たちに迎えられ、自らもマスクをつけて新館に入っています。例年とは明らかに異なる雰囲気となっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響です。2月末頃から、首都圏の大学を中心に卒業式の縮小や中止がニュースになり始め、静岡県内でも大学によって対応が分かれる中での開催でした。よく晴れた、気持ちの良い日でした。

今年度は、大学・短期大学部合計で263名の学生が卒業しました。新型コロナウイルスの感染を防止するため、式典参加は卒業生と教職員のみとし、時間も例年に比べて短縮しました。讃美歌と聖書の朗読、祈祷のあと学長が式辞を述べ、各学科の代表者に卒業証書・学位記を授与しました。それに続いて、現代コミュニケーション学科の筒井華さんが卒業生を代表して感謝の言葉を述べ、本学で学んだ愛と奉仕の精神を実践していくことが私たちの使命であると、力強く宣言してくれました。来賓の祝辞や、静岡英和学院大学賞など各賞の表彰は、残念ながら式典時間を

短縮するために今年度は簡略化しました。

式典のあと、学科ごとに別々の会場に分かれ、参加者全員に卒業証書・学位記を授与しました。いつもならば、この後に友人同士や教職員との間で別れを惜しむ時間をゆっくりともてるのですが、今年度ばかりはなるべく速やかに帰宅するよう求めざるを得ませんでした。また、学友会が主催する卒業記念パーティも、今年度は中止となりました。

このように、緊張感をともない、心残りも感じる卒業式でしたが、共に学んできた大切な仲間たちと集って卒業の節目を迎えた日のことは、一生の思い出となるに違いありません。卒業生の皆様にはあらためてお祝いを申し上げます。



(卒業式当日の写真や動画は、YouTubeやInstagramでもご紹介していますので、ぜひご覧ください)

(人間社会学部長 波多野)

目次：

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
入試課・広報課	6
留学生センター 学部事務室	7
キャリア支援課 後援会	8

 Instagram  YouTube
<https://www.instagram.com/eiwauniv/> https://youtu.be/E_AxU14-nY



りんじん じぶん あい

隣人を自分のように愛しなさい

学長 柴田 敏



こころ つ せいしん つ ちから つ おも つ
 心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなた
 の神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい。
 (ルカによる福音書10章27節)

しづおかえいわがくいん がくいんせいく せいしょ がっこうぜんたい
 これは、静岡英和学院が学院聖句としている聖書のことばです。学校全体
 で、大切にしているものです。

しんがた かんせんしょう ひろ あ まえ
 新型コロナウイルスの感染症が広がって、これまで当たり前だったもの
 が、当たり前でなくなっています。
 ともだち あ いっしょ じゅぎょう う はなし
 友達と会って、一緒に授業を受け、また話をしたり、スポーツをした
 り、食事をしたりするという当たり前のことだが、十分にできなくなっています。
 それが、感染症を広げてしまうかもしれない。いつもの生活を続ける
 ことが、人に害を与えてしまうかもしれない。そういう不安の中で生きています。

へいほん せいかつ ま わたし わたし
 ふだんの、平凡な生活が、あつという間になくなってしまいました。そして、私たちは、私たち
 のどうということのない日常の暮らしが、どれほど大切だったことか、知るようになりました。
 はや ふつう せいかつ もど わ
 早く普通の生活に戻りたいと、みんなが願っています。しかし、それが、いつになるか分からぬ
 い。そのことが、私たちを不安にします。そして、不愉快にします。

しゅう うたが けい だんせい けいかん ころ
 アメリカのミネソタ州で、あやしいと疑われたアフリカ系の男性が、警官に殺されてしまいました。
 た。そのような赦されない暴力への抗議が、アメリカで広がり、また他の国々にも広がりました。
 こうぎかつどう おさ けいかんたい しゅつどう ぼうりょく ふ
 抗議活動を抑えるために警官隊が出動し、さらに暴力が振るわれることもありました。
 なか こうぎ ひと まえ じめん かたひざ つ けいかん ぼうりょく
 しかし、その中で、抗議をする人たちの前で、自分たちも地面に片膝を付く警官もいました。暴力
 には反対だという思いを表したのです。隣人への愛を表したのです。

かみさま とも ひと かみさま わたし
 神様はいつも共にいてくださいます。どんな人のそばにも、神様がいます。だから私たちは、
 ちょくせつ し ひと たいせつ おも りんじん あい わたし
 直接には知らない人のことを大切に思えるのです。「あなたの隣人を、愛しなさい。なぜなら、私
 はあなたも、その人も愛しているのだから」と、主は言われるのです。
 くなん の こ なに あい あ わ あ きょうりょく あ たいせつ
 この苦難を乗り越えるには、何よりも愛し合うこと、分け合うこと、協力し合うことが大切で
 くに こ きょうりょく たいせつ ちいき なか きょうりょく あ たいせつ
 す。国を超えて協力することも大切です。そして、地域の中で協力し合うことも大切です。あなた
 となり ひと きょうりょく はげ あ たす あ
 たの隣にいる人と協力してください。励まし合ってください。助け合ってください。
 せいしょ おし
 聖書は、そのように教えているのです。

宗教委員会

いつも宗教委員会の働きを覚えて下さり感謝いたします。宗教主任の大坪哲也です。

2020年度は、コロナウイルスの影響により、入学式をはじめ、学院に関わる行事がなにもできないという状況です。昨年度の卒業式がなんとか条件が整ったため、開催できたことが、不幸中の幸いでした。やはり学生にとって卒業式は、一生に一度の大切なイベントです。この日のために、晴着を整え、美容院に行くなどして、みんな楽しみにしています。そのため、感染予防対策を万全にし、喜んで卒業式を迎えることができたことが、とても印象深く心に残りました。

このような状況のなかで4月になっても、リトリートも延期せざるを得なくなりました。いつ開催できるのか、現在のところ検討がつきません。大学はオンライン授業となり、講義の動画制作と配信に時間をとられる毎日が続いています。学生たちも大学に入学したという実感がなかなか持てないことだと思います。オンラインでゼミを行い、画面越しで新一年生たちの姿をひとりひとり確認しました。

大学は生活に困窮している学生たちに、10万円を支給する方針を探りました。幸いなことに、私のゼミでは、生活に困窮し、メンタル面で特に心配のある学生はいませんでしたが、留学生など厳しい状況に置かれている学生には必ず申請するように念を押しました。画面越しで手を振ると笑いながら明るく手を振ってくれる学生たちを、どうにかしてあげたいと思うばかりです。

私が自宅で自粛生活をしていると、ゼミ生の中で哲学やキリスト教についてたくさんの質問や、自分で独自に設定した自由課題の小論文を送ってくれる学生がいます。また今年のリトリートの開催を心配してくれる学生からもメールが来ます。

学生にとって勉強することは何よりも大切であり、大学行事やサークル活動を充実させることもとても大切です。このような状況がいつまでも続くとは思えませんが、できるだけ後期からは、ゼミや大学の行事を充実させたいと思っています。世界中が未曾有のウイルスの脅威に晒されている状況ですが、私たちが歴史から学び、神様がこの試練を乗り越えさせて下さるよう、お祈りしています。

(宗教主任 大坪)

ボランティアセンター

本学の主な教育理念として「愛と奉仕の実践」ということがうたわれています。このような気持ちを持っている人は、意外と多いのではないかと思いますが、それを積極的に実践していくことは、なかなか難しいことなのかもしれません。

本学には、ボランティア活動を行う団体がいくつかあります。ボランティアセンターはそのうち、外部のボランティア活動への参加を促したり、学内の有志を募って清掃活動を行ったり、募金活動を通じて発展途上国を支援したりといった活動を、継続的に行い、学生をサポートしています。また、大学はこのような意志を持った学生を支援し、ボランティア保険の経費を支出し、その手続きを行っています。

誰もが、自分一人では生きてはいけません。自分ですべての食べ物を作り、必要なエネルギーや物資を自分で作り出している人

は、ほとんどいません。そういう一人ひとりが、何か他の人の役に立っていると実感できるのが、ボランティア活動のよいところです。学生の活動が許可となったら、ボランティアでもちょっとやってみようかな、という人が集まる場として、継続した活動を目指していきたいと思います。

(ボランティアセンター 磯貝)



「2019年度第1回エコウォーク（清掃活動）を終えて」

人間社会学科

今年度4月より5名の新任の先生が本学科に着任いたしました。ご紹介しますと、「応用ミクロ経済学」がご専門の山田麻以講師、「観光学・文化経済学」がご専門の川崎友加講師、同じく「観光学・歴史地理学」がご専門の洪明真講師、「英語教育・認知言語学」がご専門の遠藤雪枝准教授、「言語学・方言学」がご専門の大槻知世講師です。どなたも大変優秀な女性教員の方々です。静岡英和学院大学の設立の歴史を見ると、1887年（明治20年）、静岡県下最古の女学校「静岡女学校」の開校に遡ります。静岡女学校が、当時、教育の機会に恵まれていなかった女子に対し、静岡の地において高い知性と教養を与えることを目的に設立されたことを鑑みると、学科教員の構成人数19名中、10名が女性教員というのは、建学の精神を実践しているかのように思います。新型コロナウィルス感染拡大のため、4月6日より学生は構内立ち入り禁止になりました。でも学生に学びの場を提供することこそ、本学の使命ということで、Zoomやyoutubeなどを駆使して、4月中旬よりオンライン授業を開始いたしま

した。遠隔でも心は1つ。人間社会学科は、留学生も多く、教員も学際的で国際色豊かです。これ



からも学科教員一同、多様性を重んじ、愛と奉仕の精神で、学生へ幅広い学びの場を提供し、静岡の地に多くの優秀な人材を輩出していくたいと思います。

今年の新入生は学部一括募集で268名が入学しましたが、残念ながら入学式はできませんでした。新入生ガイダンスでささやかながら教職員一同入学をお祝いいたしました。

(人間 永山)

コミュニティ福祉学科

主は生きおられます。イエス・キリストの十字架の犠牲を払ってまで、私たち一人ひとりを心から大切にして下さり、今に至るまで「神様のもとで永遠に喜んで生きる歩み」へ招き続けて下さっている、創造主なる神様。その主が、これまでこれからも、学科、学部、本学を導いて下さることに心から感謝し、賛美致します。

この3月、コロナへの警戒が続く中、学科毎に分かれて卒業生へ卒業証書を手渡し解散後、学科教員のみ残り、たいへんお世話になった佐野治教授（学科長）、橋本勝教授（元学科長）を花束と拍手でお送りしました。また、このときお送りすることはできませんでしたが、特例で1年間たいへんお世話になった岡村由紀子講師もご退職されました。昨年（2019年）6月には高阪悌雄教授が、その前年（2018年）には、前期に鍋谷照教授、後期途中に若林達司准教授、年度末に佐藤仁之教授が退職されています。大学と一緒に学科が創設された2002年以来、ご退職された先生方のお一人お一人を、豊かに祝福される主を賛美致します。

また、学科創設時以来、絶えず着任する先生を送って下さり、そのお一人お一人を豊かに祝福して下さる主を賛美致します。

この4月も、新しい先生を主が送って下さいました。内山尚美先生、鈴木瑞先生、佐々木光郎先生、高木誠一先生です。誠に感謝であります。

コミュニケーション・コミュニケーション・コミュニケーション

年度	着任者	退職者
	合計 10 名（内、特任 6 名）	合計 10 名（内、特任 1 名）
2016		岡部眞智子准教授
2017	佐野治教授	永田惠実子准教授、松浦崇准教授
2018	川島貴美江教授、鈴木幸子准教授	鍋谷照教授、若林達司准教授、佐藤仁之教授
2019	池田邦子准教授、岡村由紀子講師、千葉義信講師	高阪悌雄教授、佐野治教授、橋本勝教授、岡村由紀子講師
2020	佐々木光郎教授、高木誠一教授、内山尚美准教授、鈴木瑞講師	

主がすべてをご支配下さっており、ときを回しておられます。主よ、今日もあなたの栄光を見させて下さることを感謝致します。

主の前に皆様と共に静まり、主の御心と御業に、そして、主が、コミュニケーション・コミュニケーション・コミュニケーションを用いて、学科と共になされる業に、恐れと感謝と賛美を持って、共に圧倒されていきたいと存じます。

(コミ福 中原)

現代コミュニケーション学科

入学前課題の改革

現代コミュニケーション学科では、教員全員で話し合って、毎年、さまざまに改善を重ねてきました。新年度は、観光・交通関係の科目の充実を図りましたが、その矢先にコロナ禍となってしまいました。しかし、より大きな改革をしたことが、実はあるのです。推薦入学に合格した受験生に課する入学前課題は、学科開設以来変わっていなかったのですが、新年度の入学生から、大きく内容を転換しました。それは、推薦入試およびAO入試で合格した高校生が、「高校で学んでいる授業のうち3科目を選び、それぞれに授業ポートフォリオを作成し、提出する」というものです。高校生なのだから、高校の勉強に力を入れるべきということで、学科の意見が一致しました。新年度は、コロナのために、対面授業の開始が大幅に遅れましたが、新入生の「授業ポートフォリオ」をじっくり読むことができました。自分のゼミの分を読んだのですが、どの学生のものも、大変一生懸命で、こんなにもがんばったのだとうことが伝わってきました。評論家等が、今の若者は勉強しないだ

とか、地方の小さな大学など、たいした役割はないという発言をすることがあります、実態をわかっていない者の言葉だとつくづく思います。ちょうど、古谷経衡さんの『左翼も右翼もウソばかり』（新潮新書）を読んだのですが、カバー裏に「巷にあふれる言説の多くは、論者の身勝手な『願望』の反映に過ぎない。」と書かれているように、「若者は右傾化している」「若者は草食化している」「若者のクルマ離れ」などはウソだと著者は冷静に分析していますが、本学の学生を見る限りにおいて、右傾化も左傾化していらず、文章を書かせるとしっかりした意見を書く人が多いし、草食化もしていらず、適度に生きるエネルギーもあるし、必要に迫られてかもしれません、本学科の学生は、在学中に車の免許を取得している割合が少くないです。それはともかく、それぞれの高校時代の「授業ポートフォリオ」を精読すると、ほんとうに一生懸命生きていることが伝わってくるのです。こうした学生たちの個性を生かすためには、こちらも真剣に向き合う必要があると改めて思いました。

(現コミ 高橋)

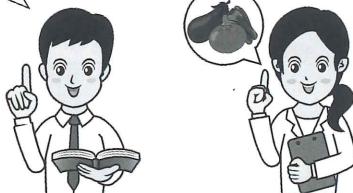
食物栄養学科

今年度より、長年親しまれた食物学科から食物栄養学科に学科名称を変更しました。栄養・健康分野の学びと、科学的な思考力や実践力をもち社会に貢献できる食の専門家の育成といった学科教育目的をより明確にアピールできるのではないかと期待しています。また、新任教員2名もお迎えしました。食品企業での食品の研究開発に経験豊富な小林直之先生と、大学での教育経験と公認スポーツ栄養士としての指導経験のある小山ゆう先生です。学科に新風が吹き込まれ、教育にも輝きが増すことでしょう。

さて、3月以降、新型コロナ禍の影響から卒業式は縮小簡素化、入学式は中止となり、本大学においても前代未聞の事態となりました。そんな中、2019年度卒業生は栄養士資格を48名が取得し、

担当科目は、食品学総論・各論、食品加工学、食物基礎実験などです。前職の食品企業では「発酵食品製造における基礎技術の研究」や「機能性食品の開発」、および「研究開発員の人材育成」を20年以上行ってきました。栄養士を目指す皆さんのが、楽しく新たなキャリアを踏み出せるよう教育と指導を実施します。(小林直之 教授)

調理学やフードスペシャリスト資格関係の科目を担当します。これまでに、学校給食センターや小学校給食、保健所や高齢者施設で栄養士経験を重ねました。また、管理栄養士養成課程の大学で12年間教育に携わってきました。栄養士を目指す学生にとって、この分野の学びが大いに役立つ授業となるよう頑張ります。(小山ゆう 准教授)



フードスペシャリスト資格15名、フードサイエンティスト資格20名、日本茶アドバイザー資格7名、チーズ検定10名が取得しました。また、卒業後教育として継続支援している管理栄養士国家試験受験準備講座と模擬試験を経て、第34回国家試験に挑んだ4名

が見事合格しステップアップを果たしました。在学時から資格や検定への関心は高く、さらに管理栄養士資格取得にまで挑戦する本学科卒業生たちを大いに称賛します。

新入生の皆さん、先輩たちの向上心や社会での活躍の基礎は本学科2年間の学びの中で養われたものです。皆さんも、本科で大いに学び、2年後に社会に羽ばたけるよう頑張ってください。我々教職員一同も、教育や学生指導で応援体制を万全にしていきます。

(食物栄養 佐々・望月)

入試課・広報課

「英和生(同窓生子女)入学金減免制度」のご紹介

2020年4月、23名の入学者が「英和生入学金減免制度」を利用して入学されました。

～入学者に対して入学金の減免を行っています～

- 1 母親又は父親が本大学及び短期大学(部)又は静岡英和女学院高等学校の卒業生の場合、入学金の半額が減免されます。
- 2 兄弟姉妹が本大学及び短期大学(部)の在学生又は卒業生の場合、2人目の入学者より入学金の半額が減免されます。
ただし、1、2両方に該当する場合は1を適用します。
なお、この減免については入学後の返金となります。



公式キャラクター「かえでちゃん」が活躍中です！

「かえでちゃん」の公式キャラクター認定にともない、屋外看板広告を新設、リニューアルしました。



ホームページを定期的にご確認ください

重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症に関する 本学の対応について

静岡英和学院大学 静岡英和学院大学短期大学部

「重要なお知らせ」として、新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応についてご案内しています。ホームページトップ画面のバナーをクリックしていただくと、「受験生」「学生」「保護者の皆さま」「教職員」「一般の皆さま」へ情報を発信しています。定期的に確認をお願いします。

日本平久能山スマートIC東交差点

そのほかの交通看板も新設しました。

日本平動物園南交差点
静岡草薙清水線（南幹線 駿河区聖一色）



(入試課・広報課 松本)

留学生センター

今年度、本学の外国人留学生は、約230名となりました。大学と短大合わせて71名が新たに入学しました。本学に在籍する留学生はすべて私費留学生なので、学費や生活費を得るために、ほとんどの人がアルバイトをしながら学生生活を送っています。そして、大学や短大の授業は、日本語学校の時とは違ってボリュームも大きくなり、出席が課せられるので、学業とアルバイトとの両立はたいへんです。

したがって、留学生活の中で、例えば日本の自然や文化にゆったりと触れるような機会があまりないのが実情ではないかと思います。



植樹した木のもとに日本語で記す留学生

さらに、今年度は新型コロナウイルスの影響があって、時間とお金があっても旅行などは控えなければならない状況となりました。そのような中ですが、留学生センターとしては、通常は、留学生が

この大学に在籍して充実した学生生活を送ることができる事を願い、いくつかのイベントを企画したり、また、地域の人達との交流会への参加を促したりしています。

昨年度の秋には、安倍川の上流の大谷崩れというところで植樹をする活動に、何人かの本学の留学生が参加しました。このような機会はたいへん貴重であり、今年度もそうした機会を提供できるように、今は、感染症がおさまってくれることを願っています。

(留学生センター 磯貝)

学部事務室

学生の皆さんにおかれましては、突然のオンライン授業に苦心し、徐々に慣れ始め、今度は一部解禁された対面授業との同時進行に振り回されている頃でしょうか。定期試験は一体どうなってしまっているのでしょうか。

さて、今年度唐突に襲ってきた新型コロナウイルス対策の大波に、学生を始め教職員も翻弄されたわけではあります、結果的に良かった点に特化して記述していきます。

①急速に進化したICT教育

今までこんなにスマホと自宅のPCを駆使したことがあったでしょうか。スマホで講義連絡をキヤッчиし、先生とのビデオ講義に参加し、Youtubeで授業を視聴し、レポートを書き、ポータルでファイルを提出する。スマホでWord文書を作成！？「ズーむ」って何！？レポート提出ボタンがない！？ここまで多くのつまづきがあったかと思います。そのたびに乗り越えて、今やみなさん立派に教員よりも…。

②情報の集約化

単純でした。情報伝達手段がポータル連絡しかなくなりま

した。おかげでみなさんのポータルには怒涛に連絡が入ってきているかと思います。逆に言うと、そこさえ見ておけば、情報を見落とすことは無いという事です。昨年度までは、学内ラウンジの掲示があり、ディスプレイがあり、ポータルがあり、直接事務室の窓口があり…。思い返せば、どこかで見落として「知らなかっただ」の学生が頻発していたように思います。

③思いやり

みんなが大変でした。そしてもう少し大変が続くかもしれません。そんな中、電話口でこちらを気遣ってくれる言葉が自然と学生の口から出でます。「大変な中、ありがとうございました」「お忙しいのに丁寧にすいません」「もう少し自分でがんばってみます」…。心から「頑張って！」と言わずにはおれません。

折しも本学院の聖句は「隣人を自分のように愛しなさい」。互いを支えあい、思いやり、難局を乗り切る。本学の教育が今社会情勢と直結していると感じるのは私だけでしょうか…。

(学部事務室 高橋)

キャリア支援課

キャリアデザイン演習

2020年度より、大学3年生向け科目「キャリアデザイン演習Ⅰ・Ⅱ」が開講されました。

今年度の「キャリアデザイン演習Ⅰ」は、コロナウィルス感染症対策のため、オンラインで実施しており、第1回から第5回は録画配信、第6回からはZoomによるライブ配信授業を行っています。

大学3年生や短大1年生向けのキャリア教育授業では、自己分析、あるいは職種・企業研究を進めていく上で、ペアワークやグループワークを多く取り入れてきました。コロナ禍の状況で対面授業の実施が難しいため、今年の「キャリアデザイン演習Ⅰ」ではグループワークもオンライン。Zoomの「ブレイクアウトセッション」という機能を使って実施しています。始めた頃は不慣れなことが多いオンライン授業でしたが、回を重ねるにつれ、スムーズに進行できるようになりました。

キャリア支援課の学生相談も、「対面」に加え、Zoomによるオンライン相談を導入しました。特に今年は、「オンライン面接」を取り入れている企業が多くあります。オンラインによる面接指導も行っておりますので、是非ご利用ください。

(ご予約はこちらから ⇒ syusyoku@shizuoka-eiwa.ac.jp)

また、筆記試験対策として、夏休み前にSPI検査のフォロー講座を対面で開催を予定しておりましたが、補講や試験のスケジュールとの調整が難しくなり、こちらもオンライン講座として開講できるよう調整中です。大学2年生、短大1年生のみなさんにも視聴していただけますし、長期間公開できますので、早めの筆記試験対策に是非活用してください。

(キャリア支援課 荒川)

後援会

フリーWifiを整備しました



大学後援会では、学生の生活面でのサービス向上させることを目的に、今回、新館ラウンジ、コンビニラウンジ、図書館にフリーWifiを整備しました。

4月に新型コロナウィルス拡大に伴う

緊急事態宣言が発令され、本学でもオンライン授業が中心となりました。6月1日から一部科目で対面授業が始まりましたが、学生がラウンジでスマートフォン、ノートパソコン等を通じてオンライン授業に参加しているのが印象的でした。

大学後援会では、学生が過ごしやすいキャンパスになるよう、大学と共に引き続き施設の充実に努めていきたいと考えております。

(総務課 寺尾)



ID・PWは、新館ラウンジ・コンビニラウンジ・図書館に掲示しておりますのでご参考ください。



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201

FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会